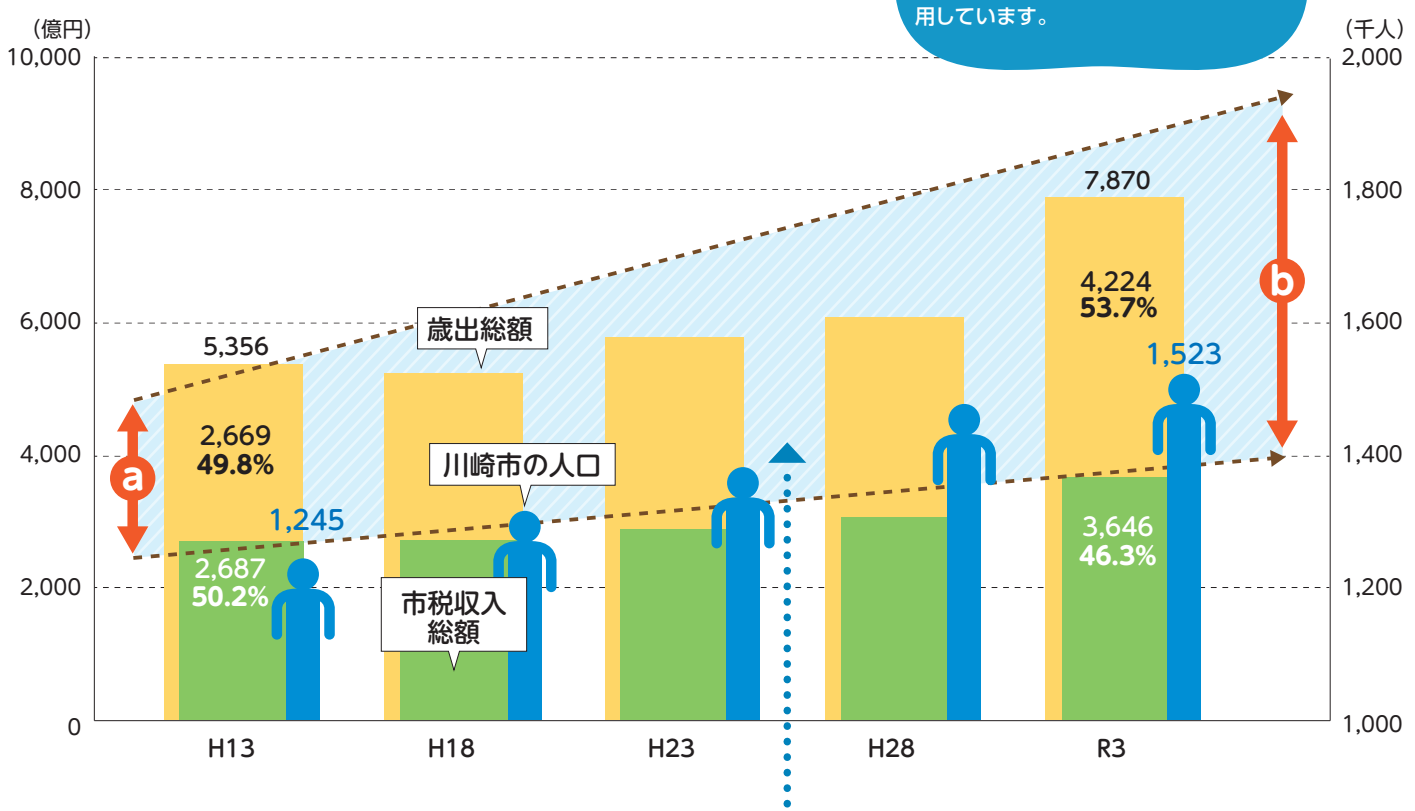


# 7 川崎市の財政状況は大丈夫なの？

人口が増加するなど活気がありますが、けっして豊かな状況とは言えません。

**※普通会計とは**  
 各会計の範囲は地方公共団体ごとに異なっていますが、他都市との比較を行うため、一般会計と特別会計のうち一部の共通する会計を足し合わせたものを普通会計と呼んで利用しています。

▶ 歳出総額と市税収入額の推移 (普通会計※決算)



**市税収入額が大幅に伸びない中で、新たな行政課題に対応するために歳出額は増加傾向にあります**

- 20年前と比較してみると…
- 歳出総額は約47%増加
  - 人口は約22%増加
  - 市税収入額は約36%増加

「a」より「b」が大きくなっているということは「出ていくお金が増えている」ということ。また、人口が順調に増えているのに対して、市税収入は厳しい社会経済状況の影響で伸び悩んでいます。収支のバランスをとり、安定した財政に近づけるためにさまざまな工夫を凝らして努力する必要があります。

**ことばの解説④**

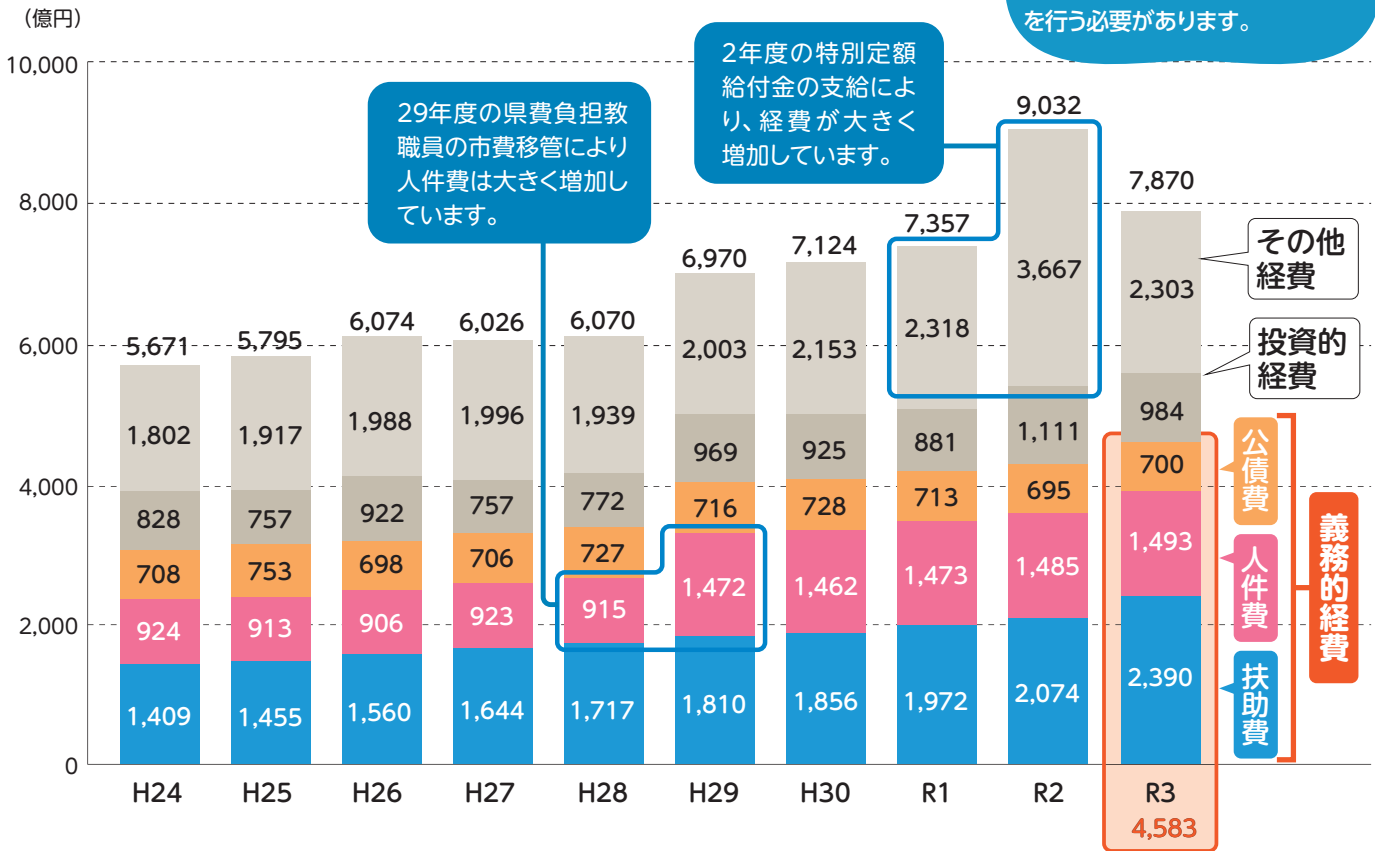
よ さん    けつ さん  
**予算と決算**

- 予算は「計画」であるのに対し、決算は「結果」です。1年間どのように使ったのか実績を示したものを「決算」といいます。
- 次年度の9月に市長が市議会に提出し、認定を受けます。また市では「決算」の内容を分析し、次の予算をつくるための参考にします。

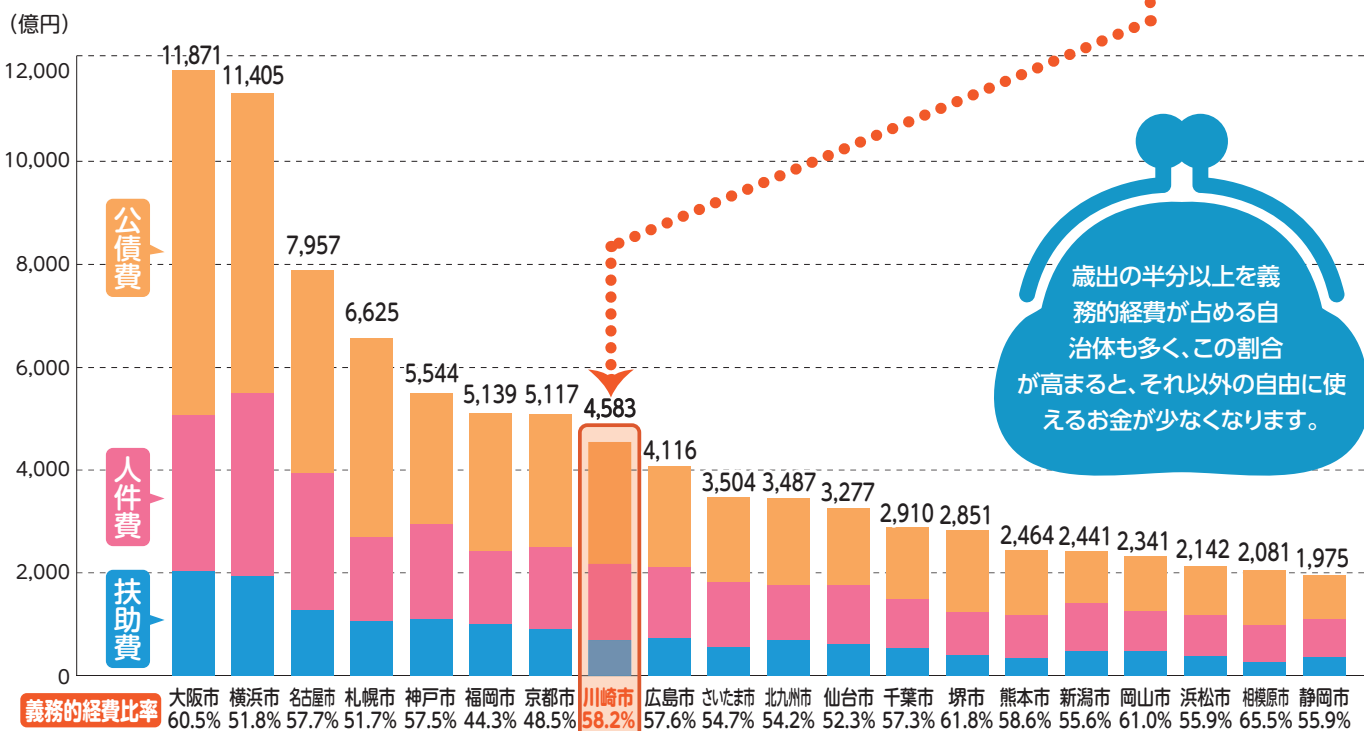
# 詳しく知るために「歳出」の内訳を1年ごとに見てみましょう。

義務的経費の中でも「扶助費」は保育需要の増加などにより増えています。こうした新たな行政需要に的確に対応しながら、将来を見据えた財政運営を行う必要があります。

## ▶歳出(性質別)総額の推移(普通会計決算)



## ▶義務的経費の政令指定都市比較(令和3年度普通会計決算)



歳出の半分以上を義務的経費が占める自治体も多く、この割合が高まると、それ以外の自由に見えるお金が少なくなります。